

令和3年度オリンピック・パラリンピック教育の全体計画

	東京都
学校名(障害種別・学部) :	都立志村学園肢体不自由教育部門・小学部
校長名 :	諏訪 肇

1 学校の教育目標

児童・生徒一人一人の人権を尊重し、障害の特性等に応じた専門的な教育を推進するとともに、個性を伸長し、豊かな人間性や社会性を育み、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。

※肢体不自由教育部門の教育目標：

健康や体力、確かな学力、豊かな人間性など生きる力を養い、地域社会の一員として、主体的に自立・社会参加し、生涯にわたって心豊かに生きていく人間を育成する。

2 各学校で定めるオリンピック・パラリンピック教育の目標

オリンピック・パラリンピック教育を通して、自他の違いや多様性を理解し、国際社会の一員として、主体的に社会参加する人材を育成する。

3 育てようとする資質・能力

- ・障害者理解：
自身の障害を受容・理解し、国際社会に積極的に参画していく態度。
- ・豊かな国際感覚：
「日本人としての自覚と誇り」を基礎とし、多様な文化や考えを受容できる態度。
- ・スポーツ志向
スポーツアスリートの活躍を観戦を楽しみ、生涯にわたって障害者スポーツに関わっていく態度。

4 令和3年度に取り組む重点的な取組内容及び「学校2020レガシー」

「5つの資質」

ア	ボランティアマインド（人の役に立とうとする意欲）	
イ	障害者理解（他者との相互理解）	○
ウ	スポーツ志向（多様なスポーツへの親しみ）	○
エ	日本人としての自覚と誇り（地域や社会の一員としての自覚）	◎
オ	豊かな国際感覚（多様な人々との交流への意欲）	◎

「学校2020レガシー」

- 【パラスポーツ等を通じた交流活動】
- ・体験会もしくは交流会の企画や参加
 - ・文化祭での東京五輪音頭 - 2020 - の取扱い
 - ・各種アウトリーチプログラムの活用

※複数ある場合には、優先順位の高いものに◎を付してください。

5 「学校2020レガシー」の構築に向けた具体的な取組

- ・東京オリンピック・パラリンピックの観戦（パブリックビューイング等の活用）
パラ水泳、ボッチャ観戦予定
- ・障害者スポーツアスリート等を招聘し、直接的な交流会の実施
「あすチャレ！ School」小学部6年生
- ・演奏者や演者を招聘し、音楽や演劇等を通じた日本や世界の国々の文化等の理解啓発学習の実施
芸術鑑賞教室（スチールパンドラムコンサート）全学年
- ・地域資源（近隣の交流校、近隣大学の留学生、文化財団等）を活用したプログラムの実施
- ・障害者スポーツやユニバーサルスポーツ、ダンス（東京五輪音頭-2020-）等を取り入れた保健体育等の授業改善を通じた運動機会の充実